



～太陽と海と緑～観光文化のまち～

もとぶ

2018年
1月



福岡県小郡市・本部町 「友好のまち」協定締結式



11月26日、福岡県小郡市と本部町が「友好のまち」協定を締結し、小郡市において式典が開催されました。

詳しくは3ページへ

目次

- 年頭のあいさつ.....2
- 福岡県小郡市・本部町友好のまち協定締結へほか... 3
- 叙勲受章者及び県功労者祝賀会ほか.....4
- 平成30年度町県民税・国民健康保険税申告について...5
- 情報ひろば.....6～7
- 第40回もとぶ八重岳桜まつりのお知らせ.....8

私たちの町

平成29年11月30日現在

世帯数	6,248 世帯 (-12)
人口	13,351 人 (-10)
男	6,788 人 (-4)
女	6,563 人 (-6)
	() 前月比



平成30年度より
固定資産税第1期の納付月が
4月から5月へ変わります!!



八重岳の桜が咲く季節だね! 1月20日から桜まつりが始まるよ! 詳しくは8ページへ。



年頭のあいさつ

本部町長 高良 文雄



明けましておめでとうございます。町民の皆様には輝かしい希望に満ちた新春を、健やかに迎えのことと、心よりお慶び申し上げます。

昨年中は、町政全般にわたり、多大なご支援ご協力を賜り、心から感謝を申し上げます。

さて、昨年は重点項目のひとつとして、子育て支援の充実に取り組んでまいりました。懸案でありました保育園の待機児童の課題については、105名定員の認可保育園を新たに整備することにより、待機児童ゼロを達成することができました。今後も、親世代のみなさんが安心して子育てができる環境の整備に取り組んでまいります。また、今年、ふれあい交流館内に「地域子育て支援拠点事業」を開設し、児童と保護者の子育て支援の充実を図る予定です。その他、乳幼児から高齢者まで、利用者に適したきめ細やかな福祉サービスの提供に努めてまいります。

教育面においては、昨年、本部中学2年仲宗根夢来さんが、全国女子中学生ウエイトリフティング選手権大会75kg超級で見事全国優勝を果たし、また本部小学校音楽部は県大会を勝ち抜き、全国大会に出場を果たすなど、児童生徒の活躍が光った一年でした。今年も「武本部」の精神で文武両面か

らの児童生徒の活躍を期待するところですが、

現在進めております学校改築についてですが、今年中に瀬底小学校の校舎改築を完了させまして、その後は、上本部小中一貫校の校舎改築に入る予定となっております。校舎改築と平行しまして、町内全小中学校の教室に冷房機器の整備を順次実施してまいります。

産業面においては、新里地区農業基盤整備事業及び瀬底ため池改修事業等に取り組み、農家の生産向上の支援を図ってまいります。また、シークワサー、アセローラ、マンゴーなど特産品の販路拡大につなげるため、加工機器の整備及び商品への多言語表示等について、生産事業者への支援を図ってまいります。

観光面においては、本町へ来訪される観光客が毎年増加しております。観光産業は本町の経済を支える重要な産業であります。国内外の観光客が本町にて満足していただく旅になるよう観光産業の支援に取り組んでまいります。

また、増加傾向にありますクルーズ船寄港の対応として、本部港のバース延長が計画されており、バース整備により外国からの大型クルーズ船が本部港に寄港することにより、本町の

観光振興に大きく寄与するものと考えております。

昨年11月に福岡県小郡市、本部町、福岡県い青年会議所、本部町商工会青年部の四者による、「友好のまち」の協定を締結しました。これは、若い青年会議所が主催する少年の船が36年間継続して本町を訪れ、町商工会青年部が受け入れを行ったことが縁で、今回長年の交流を更に発展させる目的で友好のまちを締結したものです。今後、四者を中心に「層の絆を深め、両市町の発展につなげてまいります。

最後に、昨年は、北部地区基幹病院の早期整備について、多くの町民並びに医療関係者のご支援を賜り、おかげをもちまして、昨年末、県において北部地区基幹病院の整備の方針が示されました。これにより、北部地区の医師不足が解消され、安定的で完結型の高度な医療が受けられる体制が確保されるものと考えております。町といたしまして、積極的に支援してまいります。

今後とも町政運営に皆様のご支援とご協力を賜りますとともに、本年が皆様にとりまして、最良の年でありますことを心からご祈念申し上げます。年頭のあいさつといたします。

平成三十年二月四日

本部町

本部町長	高良 文雄
副町長	平良 武康
教育長	仲宗根 清二
総務課長	仲宗根 章
企画政策課長	安里 孝夫
商工観光課長	新里 一成
住民課長	平安山 良信
町税対策課長	仲榮真 修
福祉課長	松本 一也
保険予防課長	崎原 誠
建設課長	屋富祖 良美
建設課主幹	上間 正己
産業振興課長	伊野波 盛二
会計課長	上間 辰巳
公営企業課長	宮城 忠
議会事務局長	宮城 健
教育委員会事務局長	上原 正史
教育委員会事務局主幹	謝名堂 薫

外職員一同





タンカン狩りが始まる季節だよ!

福岡県の南部、筑紫平野の北、佐賀県との県境に位置し、西側に住宅地帯、東側に田園地帯が広がっています。小郡市の歴史は古く、数多くの遺跡・古墳などが散在し、日本書記に「筑紫小郡」と記されています。また、古くから交通の要衝であり、現在も短時間で広範囲の都市との連絡が可能な交通の便がよい都市です。

また、將軍藤や味坂のポピー、花立山など四季折々の豊かな自然と豊富な埋蔵文化財など自然資源や歴史資源と連携した観光振興に期待が寄せられています。



▲ふじ(市の花)



▲しらさぎ(市の鳥)



▲小郡所在地



▲くすのぎ(市の木)

人が輝き、笑顔あふれる快適緑園都市 小郡市

以降、36年にわたり交流は継続し、少年の船の参加者(スタッフ含む)が本部町へ訪れた人数は延べ5,361人に及びます。



▲第1回「少年の船」一行

みい青年会議所・本部町商工会青年部の四者により、平成29年11月26日に「友好のまち」協定締結式を行いました。



▲締結式で握手を交す4者

福岡県小郡市と本部町は、「友好のまち」協定を締結しました。両市町のさらなる発展のため、幅広い分野で交流や協力を進めていきます。

交流の始まり

小郡市と本部町の交流は、1981年に当時の小郡青年会議所(現・みい青年会議所)主催の児童交流を目的とした「少年の船」の一行が本町を訪れ、当時の本部青年会議所(現・本部町商工会青年部)が受け入れたことが始まりです。

児童交流から始まった取組は、現在では両市町の祭りイベントにおいて、お互いの特産品の紹介や物産展を行うなど両団体の人事交流、さらには経済面にまで拡大し、活発化しています。

これまで続けられてきた民間団体間での交流を、今後は地域間交流、市民町民交流に広げ、両市町のさらなる発展に向けて福岡県小郡市内において、小郡市・本部町・みい青年会議所・本部町商工会青年部の四者により、平成29年11月26日に「友好のまち」協定締結式を行いました。

福岡県小郡市・本部町 友好のまち協定締結へ

友好のまちへ

上原良美民謡研究所が 本部町母子寡婦福祉会へ寄付

11月16日、上原良美民謡研究所(師範・上原良美)が本部町母子寡婦福祉会(会長・仲宗根須磨子)へ、11月12日に町中央公民館で開催された第3回チャリティー発表会「島唄に思いをみてい」(主催・同研究所)の収益金の一部を寄付しました。同研究所は、これまでも福祉施設慰問などのボランティア活動を通して社会奉仕活動を行っています。

母子寡婦福祉会は、母子・父子家庭及び寡婦家庭の相互扶助や親睦を深める活動を行っており、今回の寄付に仲宗根会長は「寄贈いただいたてほんとうにありがたい。今後の活動費として有効に活用していきたい」と話しました。



▲寄付金を贈呈する上原氏(右)と受け取る仲宗根会長(左)

コミュニティー助成事業

親子でワクワク科学体験教室

科学に対する興味・関心を高めるとともに、子ども会など地域コミュニティの醸成を図る「親子でワクワク科学体験教室」(主催・町子ども会育成連絡協議会)が7月から12月にかけて町内15の行政区で開催されました。

東公民館で行われた体験教室では、沖縄子ども国の高江洲義尚さんが講師となり、液体窒素に触れる実験が行われ、子どもたちだけではなく保護者の方もワクワクドキドキしながらの体験となりました。

同体験教室は本部町内の全ての行政区で開催され、他にも「空気砲」を使用した実験ショーやパイプを加工して「吹き矢」を工作するなど、楽しみながら科学に触れることができました。この事業はコミュニティ助成事業(宝くじ助成金)で行われています。



▲液体窒素に興味津々な子ども達





インフルエンザの流行時期だよ。こまめな手洗いと咳エチケットを心がけよう!

県功労者表彰

町出身者の受章を祝う

- 町出身者の叙勲受章者と県功労者表彰受賞者の功績を称える祝賀会が、1月1、2、4、本部町会館で行われました。国または社会に対する功勞者が授与する叙勲を7人が受章され、沖繩県の発展に寄与した功勞者が1人表彰されました。
- 危険業務従事者叙勲
 - 瑞宝双光章 大城 盛彦氏 消防功勞 (渡久地在住) 元本部町今帰仁村消防組合消防司令長
- 春の叙勲
 - 旭日双光章 上田 裕一氏 保健衛生功勞 (大浜在住) 元(社)沖繩県医師会常任理事
 - 瑞宝中綬章 小浜 源郁氏 教育研究功勞 (浜元出身) 札幌医科大学名誉教授
 - 瑞宝双光章 上間 保明氏 更生保護功勞 (瀬底在住) 現保護司
- 高齢者叙勲
 - 瑞宝双光章 仲間 金雅氏 教育功勞 (謝花在住) 元今帰仁村立湧川小学校校長
- 秋の叙勲
 - 瑞宝双光章 並里 弘一氏 消防功勞 (渡久地在住) 本部町今帰仁村消防組合消防団団長
 - 瑞宝双光章 玉城 善徳氏 児童福祉功勞 (大嘉陽出身) 現室川保育園園長
- 県功勞者
 - 地方自治部門 稻嶺 惠一氏 元沖繩県知事



▲(写真左から)祝賀会に出席された稲嶺惠一氏、並里弘一氏、上間保明氏、小浜源郁氏

第8回本部町ふれあい

大会は、1月1日、字大浜の多目的広場にて、第8回本部町ふれあいグラウンドゴルフ大会(主催・町社会福祉協議会)が行われました。大会には、本部町デイケアや町心身障がい者親の会、町身体障害者福祉協会、本部海陽園などの利用者の方たちが参加し、晩秋の肌寒

大会

中、競技を楽しみながら他団体との交流を深めました。



▲さわやかな汗を流した参加者の皆さん

1月1日、海洋博で本部高校の英語授業の一環として、生徒による英語を使った外国人へのアンケート調査が行われました。生徒たちは、外国人との慣れない英会話に苦戦しながらも、今まで学んだ英語の知識を活かしながらコミュニケーションを取っていました。生徒たちは、「いろいろな国の人がいるけど、英語が通じたのです」と今回の授業を通じての感想を話しました。



▲外国人観光客と会話する本部高校生たち

第2回みんで楽しく職業体験

職業体験を通じ将来を担う子供たちのチャレンジ精神を育むことを目的とした「グツジョブもどぶミニわくわくワーク」主催・町グツジョブ連携協議会が、1月1、2、3日、町産業支援センターで開催されました。今回は消防組合など町内8業者が体験ブースを設け、多くの子供たちが参加しました。誠もち店ブースでは、もち米を使った本格的な餅作り体験が行われ、子供たちは夢中で餅つきをしていました。

▲力いっぱい餅つきする子供たち

本部高校が美英授業を実施

1月1日、「音楽による人材育成・地域振興事業」により購入した楽器の贈呈式が本部小学校で行われました。今回購入したのは、新品楽器等約3点で、本部小学校音楽部で使用されます。教育長から新品楽器を受け取った同音楽部員で6年生の三島羽夢さんは、「新しい楽器は演奏がしやすく、とてもうれしい」と笑顔で話しました。同音楽部は今後、大会出場のほか、地域イベントへの出演などの地域貢献活動も行っていく予定です。

▲仲宗根教育長から楽器を受け取る三島さん(左)